

学び  
つながり  
支えあう

ドキュメンタリー映画

# 種まきうさぎ

フクシマに向き合う青春

「ワーカーズ」「かすかな光へ」「こんばんは」  
「渡り川」「ピキニの海は忘れない」

森 康行 監督作品

ナレーション 大竹しのぶ

2011年、原発事故の被災地・福島の高校生たちが  
東日本大震災と福島の姿を知ってほしいと  
全国の高校生・若者に呼びかけた。  
ピキニ事件の調査学習、マーシャルでの出会い、  
福島の農民、漁師たちの大地・海への想い——  
核の時代に生きる若者たちのいまを描く。

製作・著作：種まきうさぎ製作委員会 | 撮影：野間 健・西島 房宏・川越 道彦  
マーシャル諸島撮影：藍原 寛子 (Japan Perspective News) | 音楽：浦木 正志  
音響効果：八重樫 健二 | 編集：古賀 陽一 | 運営：松崎 頼行・吉田 正美  
企画：山下 正寿・斎藤 毅 | 2015年 | 日本 | 87分 | ドキュメンタリー

[www.tanemakiusagi.net](http://www.tanemakiusagi.net)

illustration 荒木 直子



福島映像祭2015  
出品作品



# それは福島の高校生の朗読グループから始まった。

2011年、

東日本大震災と福島第一原子力発電所の

事故の現状を知ってもらおうと、

福島の高校生の朗読グループ『たねまきうさぎ』が作られました。

このグループは、全国各地の高校生や若者たちと交流し、

世界の核被害と向き合う人々とも出会いながら学んでいきます。

東日本  
大震災

ピキニ  
事件

故郷の  
大地・海

原発  
事故

放射線  
被災

命と  
健康

「サバイバー」  
困難を切り開いて  
生き抜く人

「たねまきうさぎ」のメンバー  
はマーシャル諸島へも訪れる。  
60年間も放射能と闘い続けて  
いるマーシャルの人々。

彼らは語ってくれた。「我々  
は何もできない核被害者では  
ない」。そして続けた。「我々  
はサバイバーである」と。

サバイバー……どんな困難で  
も切り開いて生き抜く。60年、  
核被災と闘い続けたマーシャル  
の人々の生き方から学び、今後  
どのように生きていったら良い  
のかー福島若者たちは勇気  
づけられます。



平和を学び、  
平和を築く若者たち

「たねまきうさぎ」のよびかけ  
に応えて、全国各地で核と平和  
を学ぶ高校生・若者が福島に集  
まります。

そこには広島に留学中の、旧  
ソ連の水爆実験地であったカザ  
フスタン出身の少女も参加して  
います。いままであまり描かれ  
てこなかった映像を交え、若者  
たちの交流を描いていきます。

そして、今なお汚染水に苦し  
む漁師や、放射能に土地を奪わ  
れた農民の姿などを追っていく  
なか、若者たちの平和の種まき  
が広がり、平和の種が芽生えて  
いきます。

種まきうさぎ上映委員会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-44-3  
TEL.03-6907-8051 FAX.03-6907-8041

池袋ISPタマビル7F 一般社団法人 日本社会連帯機構内  
mail: info@tanemakiusagi.net